

最優秀賞

神奈川県共同募金会長賞

支援をする人のために

座間市立東中学校

二年 鶴見 柚月

いきなりですが、みなさんは六十年後支援を必要とするような暮らしをしている自分の姿を想像できますか？また、福祉と聞いて何を思い浮かべますか？

私は去年福祉学習で、高齢者福祉について学習しました。どの場所に体験に行っても、「高齢者の方は大変だから支援しないと。」と強く思いました。

私には近くに住む祖父母がいます。二人とも明るくて優しく、私は二人が大好きです。ですが、祖父はあまり体が思う通りに動きません。また、去年がんにかかってしまいました。今は回復していますが、このようなことがあり、私は身近な人の福祉について考える機会が去年は多くありました。

ここからは福祉学習で学んだこと、祖父母と接して思うこと、について分けていこうと思います。

まず、私達の学年は総合の学習として福祉について学習しました。私は高齢者福祉を行っていたので高齢者介護施設で働いている方の話を聞くことができました。その体験を通して、高齢者の方は大変な暮らしをしていて、そんな人々を支えてくれる施設だと知れました。また、私達はフィールドワークで現地の人の話を聞いたり、工夫されている点、改善点を探したりしました。そこでは改善点が見つからないくらい工夫がされていて、高齢者の方を考えて工夫してくださる施設の方は本当にすごいなと思いました。

ここまで長くなってしまいました。私は福祉体験を通して「高齢者の方は大変だな。」よりも「支援する人ってすごいな。」という思いが強かったです。

次に、先ほど言った通り私の祖父はあまり体が自由に動きません。でも私達の好きな料理を作ってくれます。そんな祖父を見ていて、祖父は元気でいるものだと思っていました。だからこそ、祖父ががんになってしまった時はとてもショックでした。その時、私は初めて身近な人を支える立場になったのだと実感しました。その時、同じ支える立場として祖母のことに目を向けられるようになりました。祖母は誰よりも不安で悲しいはずなのに、そんなことを感じさせないほど懸命に祖父を支えていました。でも祖母だって高齢者です。祖母は元氣ですが、よく病院に通っています。そんな祖母が、安心できず、大変な思いをしている環境でいいのかと思いました。

私が福祉について思うことは、支援を必要とする人ももちろん大変な思いをしています、その支援をする人も色々な思いを抱いて、大変な思いをしているということを多くの人に知ってほしいのです。

そして、冒頭の問いですが、福祉と聞いてきつと皆さんは支援を必要とする人を思い浮かべたのではないですか？私も実際、福祉と聞いて支援を必要とする人を思い浮かべていました。私達は福祉学習で「支援を必要とする人が安心して暮らせるために」を考えてきました。でも、私はこれからの福祉の形として「支援をする人が安心して支援ができる環境」をつくることが大切だと思います。これは、私がフィールドワークや身近で、支援をする人を見ていて一番これから実現してほしいと思ったことです。実際もちろん福祉とは「誰もが幸せになるために支援すること」だと思います。でも、私は福祉と聞いた時に、支援を必要とする人だけでなく、支援をする人も思い浮かぶようになってほしいです。

私はただの中学生なので、そのための社会を作ることではできません。でも、この考え方が少しでも広がって、「支援をする人が安心して支援できる環境」に少しずつなっていきたいなと思います。